

## 検討会の予定、今後の進め方等

## 検討会の予定、今後の進め方

### <令和元年度>

令和元年12月9日 現地調査会・意見交換会

令和2年 1月8日 第1回検討会

- ・ 顕在化・増加の恐れがある土砂移動現象
- ・ 今後の検討の方向性の整理

令和2年 3月 新型コロナウイルス感染拡大防止のため

第2回検討会を延期 ⇒ 資料案に対する意見聴取を実施(3月24日～27日)

### <令和2年度>

令和2年 5月21日 第2回検討会

6月 中間とりまとめ 公表

⇒ 以降、中間とりまとめに基づく調査・研究を開始

令和3年 2月10日 意見聴取

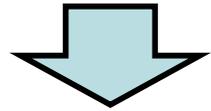
3月5日 第3回検討会

土砂災害対策分野における研究・技術開発の進め方、  
行政施策への反映の方向性

- ・ 行政施策への反映の可能性が高い課題を優先的に議論
- ・ 課題の数が多く、また、進捗状況も異なることから、議論の充実のため、今後も各年度2回程度 検討会を開催、各回2課題程度ずつを議論。

## 気候変動に関する各種計画・委員会等での記載内容

○気候変動を踏まえた砂防技術検討会 中間とりまとめ(令和2年6月)



答申へ反映

○社会資本整備審議会 気候変動を踏まえた水災害対策小委員会  
「気候変動を踏まえた水災害対策のあり方について」(令和2年7月)

○国交省 総力戦で挑む防災・減災プロジェクト  
～いのちとくらしをまもる防災減災～(令和2年12月)

主要施策2 気候変動の影響を反映した治水計画等の見直し 砂防計画等で土砂量等の見直し  
砂防計画に係る技術基準類等を見直し、降雨の増加とそれに伴う土砂量変化を反映

○環境省 気候変動評価報告書(令和2年12月)

・土石流・地すべり等の評価

「重大性:H27○→R20」「緊急性H27○→R20」「**確信度H27△→R20**」すべてが最高評価となる

・土砂災害の発生形態の変化、発生地域の変化 等の懸念事項が記載される

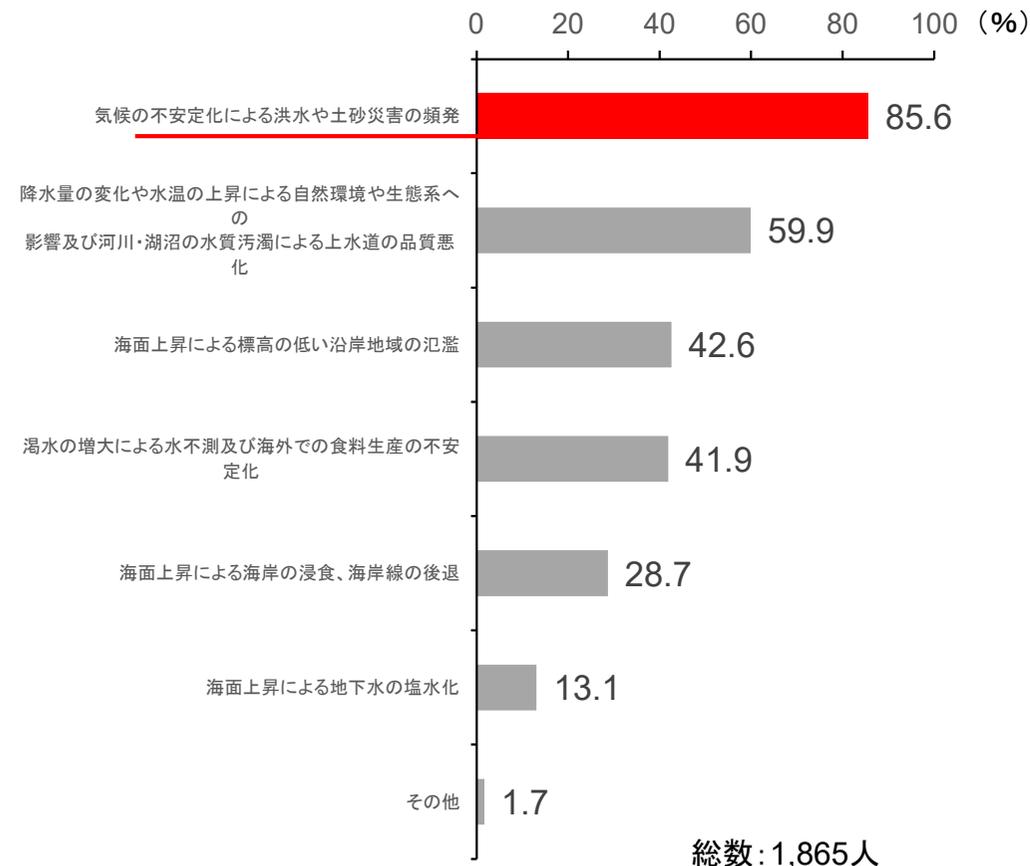
・複合的な災害影響 の代表的な災害形態として土砂・洪水氾濫、深層崩壊、河道閉塞  
(天然ダム)、流木災害 が記載される

# 気候変動の影響による水問題への心配と行政に力を入れてほしいこと (令和2年度世論調査(附帯調査)「水循環に関する世論調査」より)

- 気候変動の影響による水問題について、回答者の約9割が「気候の不安定化による洪水や土砂災害の頻発」を心配。
- また、行政に力を入れて欲しいこととして、回答者の約8割が「洪水・土砂災害防止施設の整備」と回答。

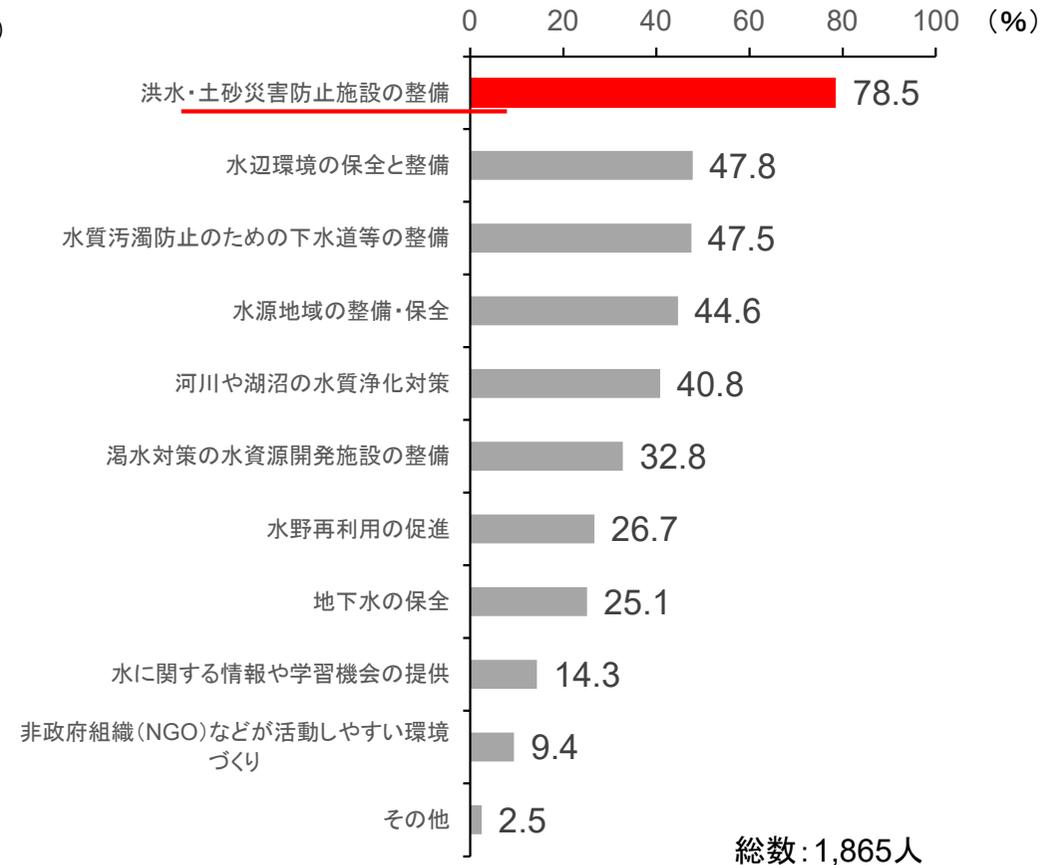
## 気候変動の影響による水問題

設問 世界的に、地球温暖化に伴う気候変動の影響により、水問題がさらに深刻化することが懸念されています。あなたは、どのようなことが心配だと思いますか。(〇はいくつでも)



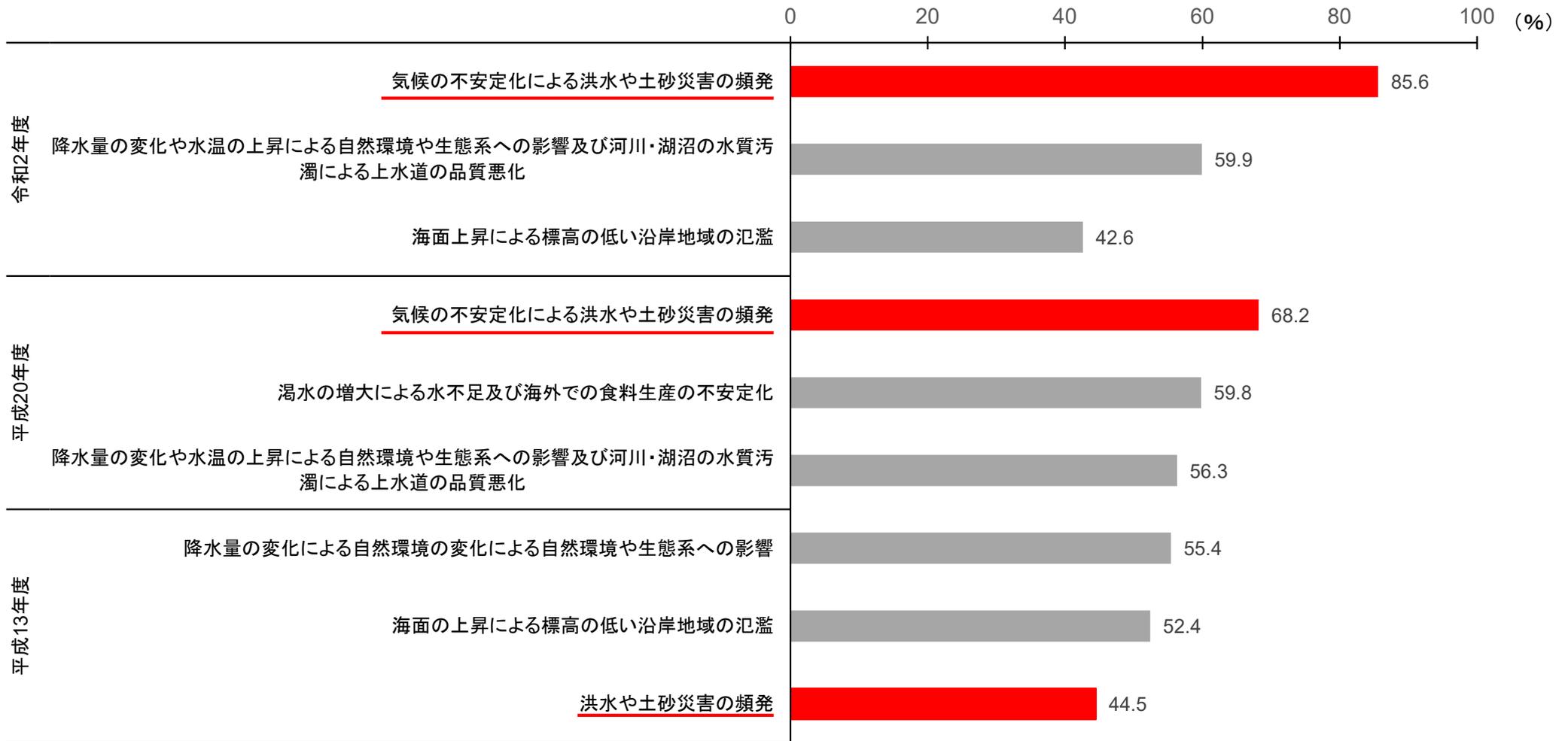
## 行政に力を入れて欲しいこと

設問 水とかわりのある豊かな生活を将来にも続けていくために、あなたが行政に力を入れて欲しいと思うことはなんですか。(〇はいくつでも)



# 経年的に洪水や土砂災害を心配する意見は増加傾向

- 同様の設問による世論調査の結果と比較すると、洪水や土砂災害を心配する人の割合は調査の回を重ねる毎に増加している。
- 気候変動による洪水や土砂災害の頻発を心配するとの回答は、約20年前には回答者の半数以下であったが最新の調査結果では、9割の人が心配する事項として回答。



備考:

令和2年度設問 世界的に、地球温暖化に伴う気候変動の影響により、水問題がさらに深刻化することが懸念されています。あなたは、どのようなことが心配だと思いますか。(〇はいくつでも) 回答者数:1,865人  
 平成30年度設問 世界的に、地球温暖化によって水問題がさらに深刻化することが懸念されています。あなたはどのようなことが心配だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。回答者数:1,839人  
 平成13年度設問 世界的に、地球温暖化によって水問題がさらに深刻化することが懸念されています。あなたはどのようなことが心配だと思いますか。この中からいくつでもあげてください。回答数:2,111人